

広報

おかげさき

平成7年

月25日

No. 460

この夏、町は 国際交流花ざかり

外国の文化に触れて町のあちこちで国際交流の輪が広がりました。

7月27日から30日は、岡垣サシリーライド《文化の競演―韓国と岡垣》が開かれ、講演会・日韓芸能祭・韓国物産展などに多くの人たちが参加し、相互理解を深めました。

8月2日には、「アジア太平洋子ども会議」の子ども大使6人が太平洋の島々の国、北マリアナ連邦から岡垣を訪れ、ホームステイで交流を図りました。また、岡垣町からも8月6日、岡垣町中学生ホームステイ研修団10人がオーストラリアに向けて出発しました。

花火大会では、北マリアナの踊りを披露してくれました。

大勢の人が参加した日韓交流事業(韓国物産展)



子どもの世界に言葉の壁はありません。
(海老瀬小・児童との交流会)

北マリアナ連邦からの子ども大使。ホストファミリーに温かく迎えられました。



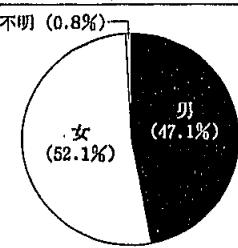
海がめもかえる町
おかげさき
福岡県



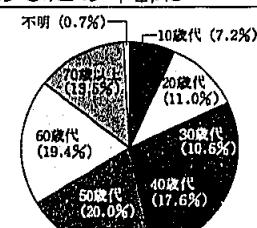
一路オーストラリアへ向けて(中学生ホームステイ研修団)

Q1 回答者の性別、年齢、職業、居住など

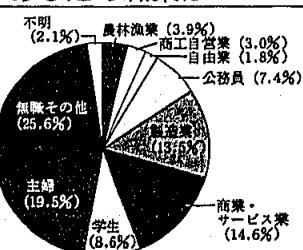
あなたの性別は



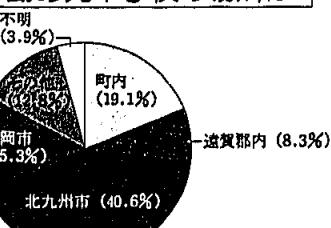
あなたの年齢は



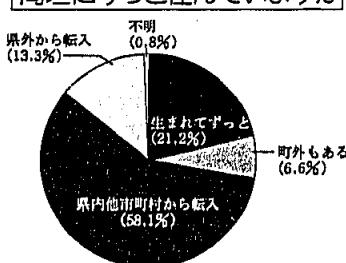
あなたの職業は



勤め先や学校の場所は

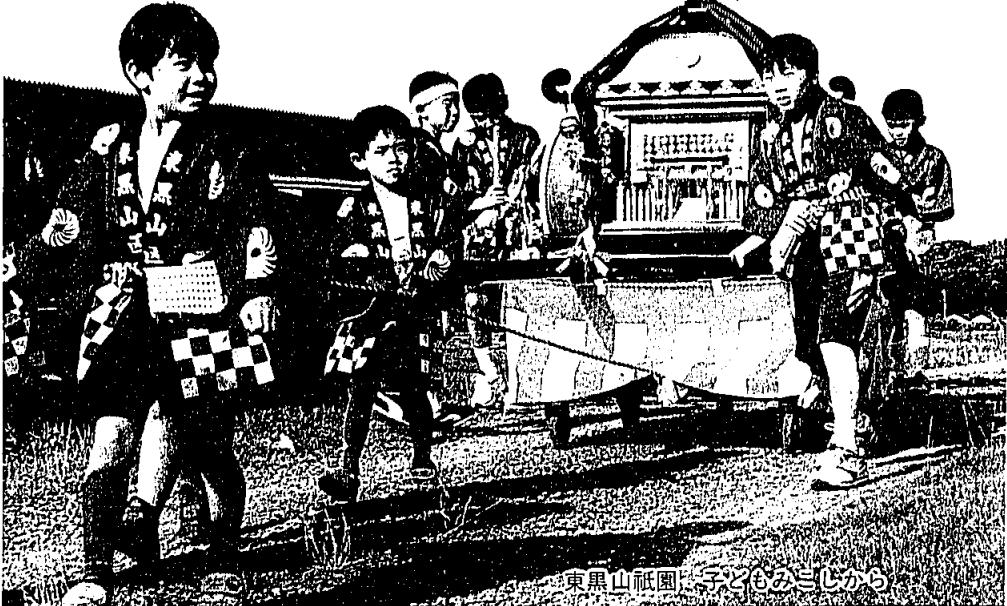


岡垣にずっと住んでいますか



*今回の調査では、若い年代からの声も聞きたいとの思いから15歳以上の住民の人を抽出しました。その結果、10歳代の住民の人からも44人の意見を伺うことができました。職業は無職の方が多く、やはり高齢化傾向が伺えると同時に、居住形態は転入者が7割を超えており、昭和40年代からの住宅開発によるベッドタウン化の傾向が表れています。

未来のまちを引っぱっていくのは子どもたち。
町民が望む岡垣像とは――。



第三次総合計画・後期基本計画策定に関する住民アンケート調査から

みなさんがこのまちをどのように感じているのか――。

みなさんがこのまちの将来にどのような希望をもっているのか――。

みなさんがいまの暮らしに満足されているのか――。

町では、平成8年度から5年間のまちづくりの目標となる基本計画を策定しています。

そこで、町民のみなさんの考え方を基本計画に反映させるため、アンケート調査を行いました。

いろいろな意見を聞きながら、問題点や課題などを整理していきます。そしてそこから「まちづくりの指針」をつくりあげていきます。今月はそのアンケート調査結果をみなさんにお知らせします。

総合計画とは

基本構想の基本的方向にのっとって、各部門ごとの施策を体系的に示すことにより、個々の施策を計画的に進めていくための具体的指針となるものです。岡垣町の前期基本計画は平成3年から平成7年までの5年間、後期基本計画は平成8年から平成12年までの5年間で、本年は前期基本計画の最終年、後期基本計画の策定年です。岡垣町は現在第三次総合計画を平成3年から平成12年までの期間で策定しており、今年はその中間年にあたっています。

基本計画とは

基本構想の基本的方向にのっとって、各部門ごとの施策を体系的に示すことにより、個々の施策を計画的に進めていくための具体的指針となるものです。岡垣町の前期基本計画は平成3年から平成7年までの5年間、後期基本計画は平成8年から平成12年までの5年間で、本年は前期基本計画の最終年、後期基本計画の策定年です。岡垣町は現在第三次総合計画を平成3年から平成12年までの期間で策定しており、今年はその中間年にあたっています。

調査の方法

- 調査地区 町内全域
- 調査時期 平成7年5月
- 回収の結果
- 配布数 千十四件
- 有効回収数(率) 六百九件 (六〇・一%)
- 抽出法 住民基本台帳から無作為に抽出
- 調査、回収方法 郵送 (返信用封筒を同封)

町内に住んでいる満15歳以上の男女、千十四人のデータ
に示すことにより、個々の施策を計画的に進めていくための具体的指針となるものです。岡垣町の前期基本計画は平成3年から平成7年までの5年間、後期基本計画は平成8年から平成12年までの5年間で、本年は前期基本計画の最終年、後期基本計画の策定年です。岡垣町は現在第三次総合計画を平成3年から平成12年までの期間で策定しており、今年はその中間年にあたっています。

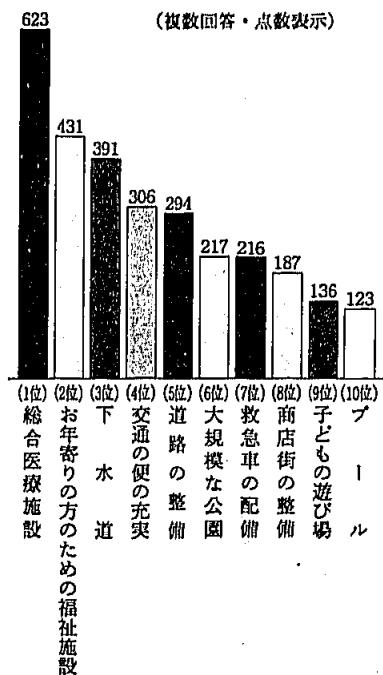
Q2

あなたにとつて、この町の住みごこちはいかがですか。そしてこれから先もこの町に住み続けたいと思いませんか。

「よい」「住んでいたい・とりあえずこのままでいたい」が八割。しかし、低年齢層ほど定住意向が低くなっている。

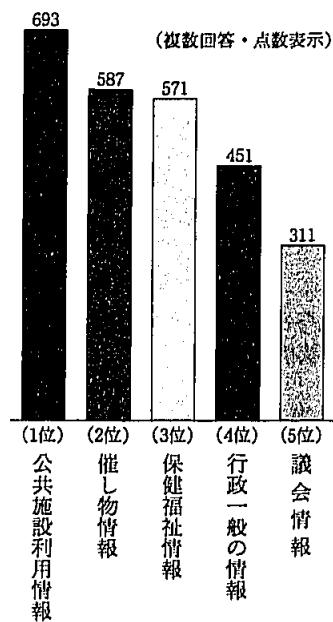
Q3

あなたが町の行政に最優先で整備して欲しいのは何ですか。



Q4

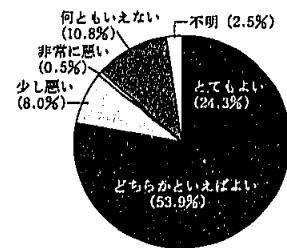
あなたが暮らしの中で、どのような情報が欲しいと考えますか。



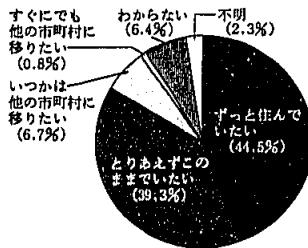
「総合医療施設の整備」が一位。
次いで「福祉施設」「下水道」の順。

*住民の人が得たい情報は公共施設の利用や催し物、保健福祉に集中しています。他の問ではサンリーアイの利用状況についての結果もでていますが、行政のいろいろな情報をいかに住民の人にわかりやすくお伝えするかは今後の情報化社会において欠くことのできない大切な項目となります。

(1) 住みごこちは



(2) 今後も岡垣に住みたいか



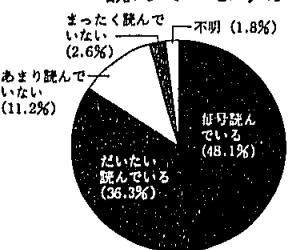
*町の行政に最も力をいれて欲しいものとしては、「総合医療施設の整備」が第1位で623ポイントでした。しかし他の問において、「身近な病院の充足度」を調査したところ、約6割の人が満足しているとの結果となっており、病院の数は多いものの、多くの診察項目のある病院の充実が望まれています。次いで福祉施設が第2位で431ポイント。第3位は下水道の整備が391ポイントでした。平成9年4月には福祉の里が完成し、その効果が大いに期待されるところですし、下水道についても公共下水道につづいて集落排水にも着手するなど環境面の充実が今後図られていきます。

*岡垣の住みごこちについては「とてもよい・どちらかといえばよい」の合計が8割近くにもなりました。特に住宅密集地区での評価が高いようです。これから先も岡垣に住みたいかについては84%の人が「住んでいたい・とりあえずこのままでいたい」と回答されています。一方、「いつかは、また、すぐにでも他の市町村に移りたい」と回答された方も1割弱あり、その多くが10、20歳代で、特に10歳代は全回答者44人の3割近くの12人がそのように思われている結果となりました。若い世代の風潮といつてしまってよいのかどうか考えさせられるところです。

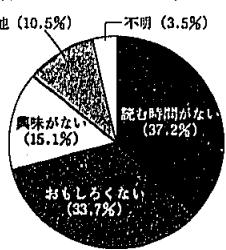
Q5 広報おかがきについて

「読んでいる」が九割。載せて欲しい内容の一位は「これから進めていこうとする計画やその内容」。

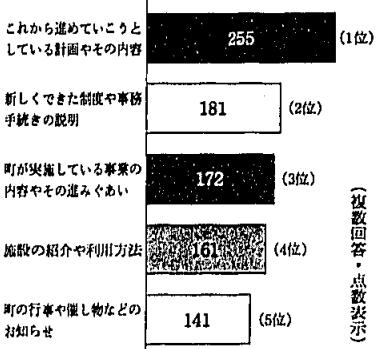
(1) 広報おかがきを読んでいますか



(2) 読まれない理由は



(3) 今後どのような内容を新しく、または続けて欲しいですか。

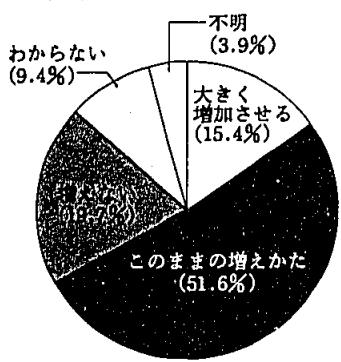


*広報については約85%の人から「毎号読んでいる・だいたい読んでいる」との回答を得ることができました。読まていない人は全体の約1割強ですが、その内2人に1人が10、20歳代との結果がでています。また理由としては「読む時間がない・おもしろくない」が多く、全体の7割を占めています。広報に載せてもらいたい項目は「これから進めていこうとしている計画やその内容」が第1位で、情報の間の項目と併せて、行政と住民の人との間に距離があることが伺えます。

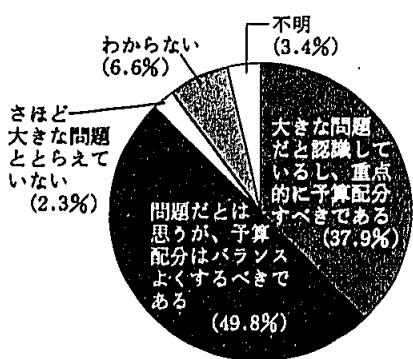
Q7

岡垣町の人口は現在緩やかな増加傾向にあります。今後も宅地造成などによりその傾向はつづく見込みです。将来の町の人口及び十年後には四人に一人が65歳以上となる高齢化についてどのようにお考えですか。

(1) 将来の岡垣町の人口について



(2) 高齢化の問題について

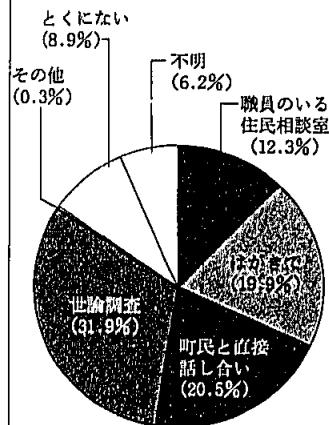


*町の人口は過去10年間で約1,500人増加しています。今後も緩やかな増加が見込まれますが、アンケート結果からはそれについて容認されています。やはり人口が減少することは、地域の活性化の妨げになることも考えられ、減少よりは増加の思いがあるのでしょうか。高齢化の問題については大きな問題と認識されている人が9割近くに達しています。現在は65歳以上の高齢者人口は全体の19%ですが、10年後には23%にも達すると予想されます。福祉の面が平成9年に完成しますが、大きな期待がかけられています。

Q6

町民の意見や要望など積極的に町政に取り入れていくためには、どのような方法がよいとお考えですか。

「世論調査」が一位。次いで「町民と直接話し合う」機会を増やす」「要望や意見を聞くはがきを配る」の順。

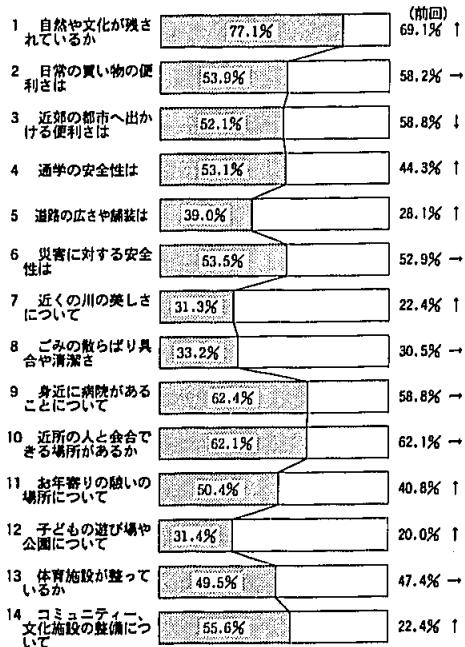


*情報や広報おかがきの項目でもわかるように、行政からいかに住民に情報を伝えるかが今後の課題となりそうです。また、住民から町行政への意見や要望については世論調査が項目ではトップでしたが、ほかにもいろいろな方法がありそうです。

Q10

あなたは次のことについて日ごろどのように感じていますか。

(この調査結果については、有效回答数を満足、不満足に分け、五年前の調査と比較してみました。グラフ中の数字は各項目の満足度を表す率です。グラフ中「→」の表示はほぼ前回との結果差が5%以内のもの。「↑」は前回より満足度が5%以上上昇したもの、「↓」は前回より5%以下下降したもの)



*前回の調査において満足度が低率だった項目が、かなり上昇しています。「道路の広さや舗装」については都市計画街路の整備により、主要地点までのアクセスが充実したことが上昇の要因と思われます。一方生活道路の狭小さにまだ不満が残っています。

「近くの川の美しさについて」も下水道の普及率の上昇とともに満足度も上昇しており、今後も公共下水道に併せ、集落排水による整備、また水辺の環境を重視した河川改修が行われると、この項目の満足度はさらに上昇すると思われます。

「子どもの遊び場や公園について」は、サンリーアイのふれあい広場の整備、各都市公園の改修により、前回よりも上昇していますが、総体的にはまだ満足度は低いようです。今後は近隣公園などの規模の大きな公園整備が望まれています。

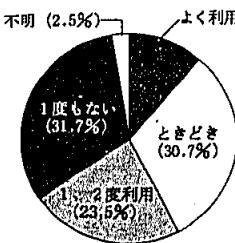
「コミュニティ・文化施設の整備」については、サンリーアイの完成により、満足度は一気に50%を超える結果となりました。今後は他の項目の調査結果にもあるように、施設の活用に重点をおかなければなりません。一方満足度が低下したもの、及び低率のまま上昇しない項目としては、「近郊の都市へ出かける便利さ」、及び「ごみの散らばり具合や清潔さ」があります。でかける便利さについてはバス路線、JRの快速、駅周辺の駐車場などの問題があります。またごみの問題では、それ自体の問題は当然のことながら、街路や公園、緑地などの維持管理に今後さらに重点をおく必要があります。

Q9

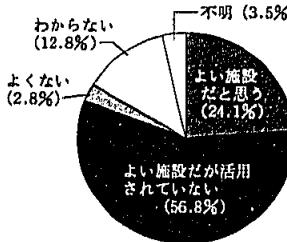
岡垣サンリーアイについて

「よい施設だと思うが町民の生活にまだ十分活用されてない」が五割強。

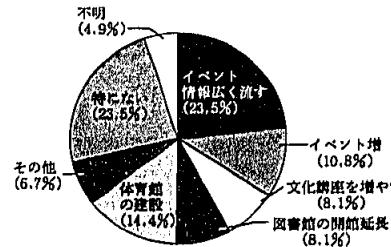
(1) サンリーアイを利用したことありますか。



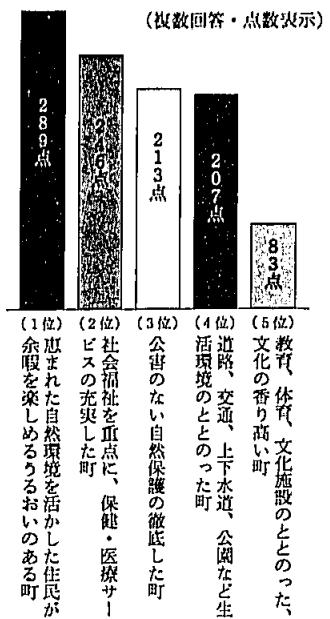
(2) サンリーアイの開館は町にどのような影響を与えていらっしゃると思いますか。



(3) 今後サンリーアイへのどのようなことを要望しますか。



*サンリーアイは町の総合文化施設として平成5年にオープンしましたが、「よく利用している・ときどき利用している」と回答された人は4割。また、1度も利用していない人も3割を超えています。1度も利用したことのない人の年齢構成をみると、20歳代は20歳代全体の4割の人が利用していません。次いで60歳代、70歳代が4割弱となっています。反対に10歳代や30~50歳代にはよく利用されている状況です。サンリーアイは今後町の生涯学習の拠点となる施設です。多くの人に親しまれるように、対策を講じる必要があります。



あなたは5~10年後には岡垣町がどのような町になつて欲しい、将来にどのような理想をお持ちですか。

ゆたかな自然を意識した項目に集中。

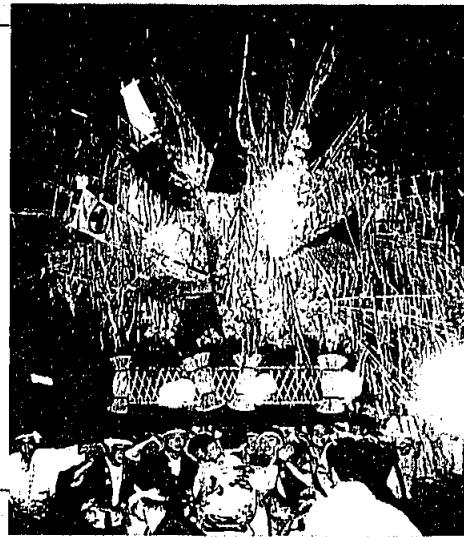
*将来像についておたずねしましたが、やはり岡垣町のゆたかな自然を意識した項目に回答が集中しました。町のキャッチフレーズ「海がめもかえる町」も同じようなコンセプトから考えられたもので、町行政が目指すもの、そして住民の人が感じておられることもほぼ同じではないでしょうか。

受け継がれていく伝統。

—東黒山祇園山笠—

「わっしょい！わっしょい！わっしょい！」と威勢のいい掛け声。各地で夏まつりが花盛りの中、東黒山で7月14日、伝統の祇園山笠がありました。東黒山中の若い男が、色とりどりの旗や花で飾られた山笠を引き、山笠の中に2人が入り、大小の太鼓をたたきます。その壯觀さに大勢の見物人を交えて、お祭りは最高に盛り上りました。

この祇園山笠の起りは、その昔、東黒山に疫病がはやったときに、厄のがれに、東黒山の家が三軒になつても続けますと、万年願の醫いをたて、始められたもので、江戸時代後期から続くものだそうです。



町中が花火に酔いした夜。



—第6回花火大会—

今回で6回目を迎える花火大会が8月5日、今年は舞台を岡垣サンリーアイ前に移し、盛大に行われました。町の中心部での開催とあって、岡垣サンリーアイやその周辺を合わせて、昨年の倍以上の約15,000人が詰めかけ、夏の夜空に打ち上がった3,000発の花火に酔いしました。

花火に先立ち行ったイベントでは、アジア太平洋子ども会議で岡垣にホームステイしている子ども大使たちがお国の踊りを披露してくれ、観衆の拍手喝采を浴びました。また、その後の盆踊りには、町内各区から大勢の参加者がおり祭りに華を添えました。

盆踊りで、盛り上がった午後8時、花火の打ち上げが始まり、観衆の歓声も最高潮となりました。

このコーナーでは、写真で町のいろいろな出来事をお知らせしています。
みんなのまわりの出来事・催しなどがございま
たら役場地域振興課“広報おかげ”までご連絡くだ
さい。

投票する立場 <ちがい> 見る立場 貴重な経験です。

7月23日の参議院選挙で20代の若者4人が投票立会人をしました。これは若い人の政治離れが言われている今日、若い人にも政治参加をしてもらい、関心を持つてもらおうと、町選挙管理委員会が20代の若い人を無作為に選び、お願いしたものでした。

4人のうち第1投票所（中央公民館）の岡嶋正人（吉木）さんと平川正浩（元松原）さんは選挙権を得たばかりの20歳です。2人に感想を聞くと「今日、見ていて限り若い人の投票が少なかったようです。杖を杖いたお年寄りも投票に来ているのに、若い人も見習って欲しいと感じました。今まで選挙は2回経験しましたが、立会人として見る選挙は貴重な経験でした。友だちにも政治に関心を持ち、投票に行くように言いたいです。」と話してくれました。

今後も町選挙管理委員会では、政治に関心を持つてもらうため、若い人たちにも積極的に立会人をお願いする予定です。



右から岡嶋さんと平川さん。

親しみやすい愛称をつけてください

町では、平成9年完成予定の保健福祉施設「おかがき福祉の里」(仮称)の愛称を募集します。

福祉をイメージする明るく親しみやすい愛称をお待ちしています。

応募方法

ハガキに愛称、簡単な

学校名・学年・性別、電話番号

を記入して送ってください。

*一人何点でも応募できますが、

ハガキ一枚につき一点としてください。

応募締切 9月25日

賞品 最優秀作品には二万円相当、

優秀作品には一万円相当、佳作には五千円相当の記念品を贈ります。

発表 10月15日、

まつり岡垣健康福

祉フェアの際、発

表及び表彰を岡垣

サンリーアイ中ホー

ルで行います。

応募・問い合わせ

岡垣町野間67-1

1岡垣町役場福祉

課公募係 ☎ 282

1211 内線

(253)へ

*同一作品多数の

場合は、抽選とし

★保健福祉施設

「おかがき福祉の里」

(仮称)とは…

岡垣町高齢者保健福祉計画に基づいて建設されているもので、岡

垣サンリーアイの近くに平成9年

完成をめざし建設計画が進められ

ています。

施設は全部で三棟あり、地域福

祉センター・ふれあい館・屋内ゲー

トボール場から構成されます。

地域福祉センターは、二階建て

で一階では、お年寄りや、障害を

持つた人たちへのサービスを行う

デイ・サービスセンターと、健康

診断や健康教室を行う部屋があり

ます。また、二階には、ボランティ

ア活動を支援・育成するための部

屋がつくられます。

ふれあい館では、サウナや露天

風呂もある入浴施設、いろいろな

工作をする工作室、それら

を展示できるギャラリーがあります。

また、屋外には花や野菜が栽

培できるいきがい農園があります。

屋内ゲートボール場では、ゲー

トボールをはじめ様々なスポーツ

やイベントを行えます。

幼児からお年寄りまで町民誰も

が楽しく利用でき、町民のふれあいの場となる施設となります。

簡単で安心

調査内容

調査内容

調査はまず、9月下旬から調査員が各

家庭に伺い、世帯ごとに調査票を配布し

ます。調査項目は全部で十七。家族の氏

名、出生の年月、就業状況などです。調

査対象者には、旅行などで一時留守にし

ている人、長期滞在している人、生まれ

たばかりの赤ちゃんも含まれます。記入

して頂いた内容を、他人に漏らしたり、

統計以外の目的に使用することは、法律

で固く禁じられています。どうぞ安心し

て、ご記入ください。その調査票は、後

日調査員が回収に伺います。

を正確に知ることができます。

調査結果は、統計としてまとめられ、

これからの行政の重要な基礎資料となり

ます。そして、私たちの暮らしのいろん

な分野で、活かされています。結果は、

二十一世紀に向けた各種計画や、雇用対

策、防災対策など、国や都道府県、市町

村の行政に利用されるほか、将来人口の

推進などの、学術研究にも利用されます。

10月1日、国勢調査に、ぜひ皆さんの

ご理解とご協力をお願いします。

問い合わせ 役場地域振興課へ

国勢調査

平成7年
国勢調査



十月一日、全国一斉に実施



国勢調査は、法律に基づいて国が行う
調査です。調査の目的は、単に人口を調
査するだけではありません。急速に進む
高齢化、国際化の状況、あるいは世帯の
構成、住宅の状況など、日本の現在の姿



福祉の里（仮称）愛称
名づけ親大募集！

さようなら ジュリー・ジョージさん 3年間、お世話になりました。

岡垣・岡垣東中学校で英語指導助手として、会話や音を中心に楽しく、実用的な英語を3年間に渡り教えてくれたジュリー・ジョージさんが契約期間の終了にともない退学されました。持ち前の明るさとユーモアで中学生だけでなく、多くの町民から親しまれたジュリーさん。ジュリーさんからのお別れのメッセージを紹介します。

岡垣は私の日本でのふるさとです

私が初めて日本に来たとき、広報に自己紹介を書いてから早いもので3年がたちました。

私の岡垣での仕事の期限が7月28日で終わりましたので、悲しいけれどもみなさんに“さよなら”を言わなければなりません。

私は岡垣町の中学校で英語を教えるためと日本の文化といろいろな事柄を勉強するためにオーストラリアからきました。私は岡中と東中の生徒たちが、私の授業を楽しんでいたことに、とてもうれしかったです。

今の3年生たちは、私が3年間受けもしました。私は彼らの成長を見ることができましたが、最後まで（卒業式まで）見ることができず、とても悲しいです。彼らも私のことを忘れないと信じています。

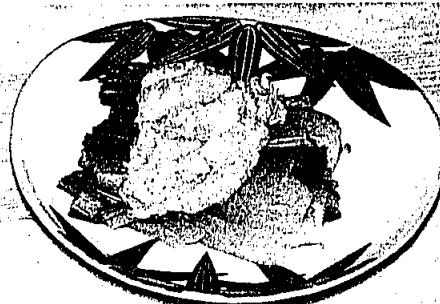
岡垣の役場の人々・先生たち・住民のみなさんは、とてもやさしく、親切で、私にいろいろなおもしろい話をしてくれました。私はみなさんから日本のことについてたくさん学びました。私はいつも失敗ばかりしていましたが、みなさんはがまん強く教えてくれました。とてもうれしかったです。ありがとうございます。岡垣のみなさんは、私を前から岡垣町に住んでいた人のように接してくれました（道やお店、焼き鳥屋など）。

岡垣町は、私の日本でのふるさとです。私は、8月から英語講師として大分県の中津に行きますが、時々、岡垣町に戻ってくるので、見かけたら話しかけてください。ほんとうに岡垣町を去ることは悲しいです。私の心の中には、岡垣町の思い出がいっぱい詰まっています。この3年間、本当にありがとうございました。

July George

・ヘルシークッキング・

ちんげんさい
青梗菜の冷やしあんかけ 39回



<材料 4人分>

- 青梗菜………4株
- かに缶……………180グラム
- しょうが………1かけ
- ごま油……………大さじ2杯
- 片栗粉……………大さじ1杯
- トマト……………1こ
- 水……………カップ½杯
- スープの素……………小さじ½杯
- さけ……………大さじ2杯
- さとう……………小さじ1杯
- しお……………小さじ½杯

<作り方>

- ① 分量の材料をまぜ合わせて、スープを作つておく
- ② 青梗菜は、ゆでて水気を切つておく。
- ③ かに缶は、軟骨を取り、おろししょうがにからめておく。
- ④ ごま油を熱し、②を軽く炒め、スープを加える。
- ⑤ ふわっとひと煮立ちしたら、水溶き片栗粉を加えてとろみをつけ、①にかけて冷蔵庫で冷やし、トマトを添えて供する。

<1人分の栄養価>

エネルギー (Kcal)	カルシウム (mg)	塩分 (g)
136	153	1.7

お料理アドバイス

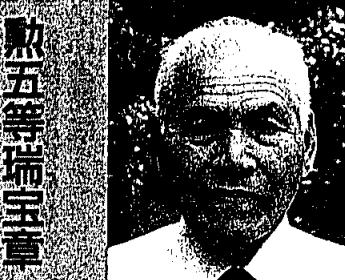
盛夏で食欲の進まない季節に、冷たくてあっさりとし、とろりとした舌ざわりはボリューム感があり、いただきやすい夏の一品です。

<計量器具の記号と分量>

- T…大さじ…1杯………15cc
- L…小さじ…1杯………5cc
- C…カップ…1杯………200cc
- ※計量器1杯はすりきりに計ります。
※目分量より計量器使用に慣れましょう。

岡垣町食生活改善推進会

信念貫いて社会に貢献 春の叙勲



貝島 保武さん
(東松原・80歳)



糸山 貞一さん
(百合ヶ丘・71歳)

貝島さんは36年間国鉄に勤務し、その後、関連会社で13年間鉄道業務に従事されました。国鉄時代には国鉄の赤字経営に先立ち、昭和36年から退職にいたるまで合理化・改善業務に当たり、実効をあげられました。

退職後も新幹線の博多延伸に際し、九州新幹線の創立発起人となり、新幹線博多延伸に大きく貢献されました。

また、町の教育委員長、人権推進協議会会長、青少年問題協議会委員などの公職も歴任され、町教育行政にも大きく貢献されました。

「与えられた事に最高を尽くす。克己(己に充つ)を信念に生きてきました。また、永年教育行政にも係わつてきましたが、最近の教師の体調の問題について、先生方は熱心ではなく、自身の人格をもって生徒指導に当たってもらいたい」と話してくれました。

糸山さんは昭和15年中央気象台(当時は文部省の付属機関)に入り、43年間気象業務に従事されました。

その間、気象業務の管轄は文部省から運輸通信省、運輸省、そして気象庁と変遷をたどりましたが、糸山さん

は天気予報や台風、豪雨などの注意報・警報、さらには地震、火山についての情報などの発表を通じて災害の予防、交通の安全確保、産業の興隆など公共の福祉の増進に大きく貢献されました。

「予報や警報は、災害に直撃、結び付くので、慎重にあらゆることを考慮して利用しやすい予報を心がけてきました。測候所では、自分が使命感に燃えてお互い協力し、助け合っていました。自分だけが特に輝かしい事をしたとは思っていません。私を支えてくれた仲間や家族に感謝しています」と話してくれました。

